

エレキテル（佐久間象山 作）

Electrotherapy device (Battery-operated) by Sakuma Shozan

日本では平賀源内が安永5年(1776)に、静電気式のエレキテルの修復に成功しています。初めは電気治療器としてよりも、見世物として好奇の対象でしたが、佐久間象山らが製作した電池式のものは、治療が行えました。

In Japan, Hiraga Gennai succeeded in restoring an electrostatic elekiteru in 1776. At first, it was more of an object of curiosity as a spectacle than as an electrotherapeutic device, but a battery-powered version made by Sakuma Shozan and others was capable of performing treatment.

1860

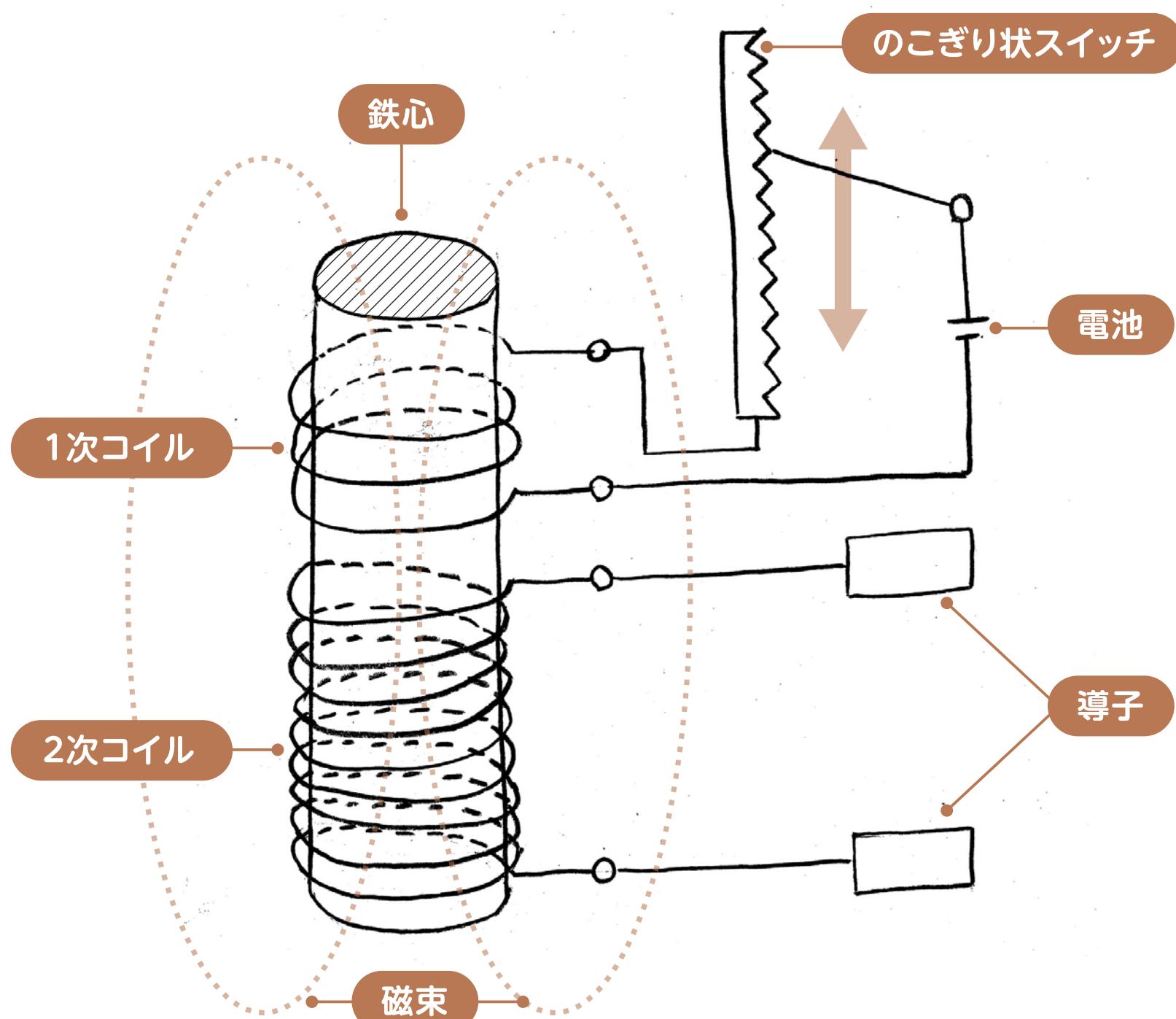
371 × 220 × 68mm

佐久間象山エレキテル構造

電磁誘導を利用したエレキテルです。

内部には鉄心に巻いた1次コイルと2次コイルがあり、
上部ののこぎり状のスイッチをスライドさせることで、
1次コイルの電気が流れたり切れたりを繰り返します。

その入り・切りが切り替わる瞬間に、2次コイルには誘導起電力が発生し、導子（電極）の間には高い電圧が発生します。



館内企画展アーカイブ バーチャル展示室



Copyright © 2007

日本語

right(C) Toyota C

卷上第3回全文

REFERENCES AND NOTES

Systems and Technologies